

議 案 審 議

一般会計補正予算での質疑応答の内容を要約し紹介します。

平成27年度一般会計補正予算

問 高橋七重議員

ジュピアランドひらたの駐車場整備に要する土地4ha、地権者7人のうち、2・8ha、2人と仮契約が済んでいる。この広さで何台分の駐車場が確保できるのか。また、交通量調査結果によると、芝桜まつり期間中の渋滞は2、3日程度であり、1、350台分もの駐車場は必要ないと考える。

答 渡邊産業課長

1haを超える開発行為を行う場合、面積に応じた調を整池を造らなければなら

か。

答 生田目教育課長

岩の大きさは精査しないとわからないが、現段階では、岩掘削機械で対応できています。今後経過をみながら検討します。

完成予定の高さは実施計画通り標高485mですが、校庭の計画高は50センチ低くなり、段差をつける事になります。

再問

校庭側が低くなる分、残土が増えることになるが、その処理費用は契約金11億円の中に含まれるのか。また、変更手続き等は生じないのか。

答 生田目教育課長

現時点では含まれていません。工事が進行し施工関係上の変更なども若干出てきています。工事が9割近く進んだところで再度精査し、変更などがあれば説明します。

問

木田武一議員

道路改良工事が、制度廃止により改良予算が削減されたが、このような時こそ過疎債を利用すべきである。古殿町では統合小学校建設の際、7億円を8億円に増額し、県から許可をうけた。平田村も村長が政治力を発揮し、過疎債を利用すべきではなかったか。

答

澤村村長

制度廃止などで予算が無くなった部分に、急に過疎債を充てるといふ予算編成方法は難しい。過疎債以外の財源を充たしつつ、不足が生じないよう努力します。

問

芝桜の維持管理に3千万円の経費を掛けるようだが、入場者は増えたものの駐車場収入が100万円も減っている状況で、昨年より1千万も多く経費をかけるジュピアランドひらたの運営は異常である。三春町の滝

で、一生懸命努力します。

工事請負契約の締結について

▽反対討論△

木田武一議員

学校建設に反対するものではないが、敷地造成は5億円から9億円、最終的には11億円となる見込みである。校舎建設は基本設計の段階で16億円が、実施設計になったら21億円にまでなる契約は異常であり、反対する。

▽賛成討論△

吉田好之議員

統合中学校敷地増成工事が間もなく完了し、校舎建築着工も予定されている現状を考え、契約の締結には賛成する。

採択の結果、賛成8、反対2で可決しました。

問

芝桜の維持管理に3千万円の経費をかけるなら、入場料徴収も、村民から痛烈に批判されないような運営をすべきである。

答

澤村村長

批判されることのないように管理運営していく考え